

進路指導部通信

県立高等特別支援学校
進路指導部

2020. 2. NO.8

卒業式まで、残り数日となりました。3年生の皆さんの進路は様々ですが、新天地での生活が良いものになるよう願っています。1年生の皆さんは、3月から進路二者面談を行います。進路指導部の先生に、自分一人で普段の学校生活のことや進路希望について、しっかりと話せるように準備しておいてください。保護者の皆様には、この機会を通して、親子で進路について話し合う時間も取っていただければと思います。

3学期も残り少なくなってきましたが、学年末の大切な時期でもありますので、ご家庭での健康面の見守りや生活リズムの確認をよろしくお願いいたします。

卒業に向けて～五つの格言より～

進路指導部 部長

24期生の生徒諸君、保護者の皆様ご卒業おめでとうございます。「社会自立」の目標のもと、本校に入学され、それぞれの進路先に羽ばたかれるに際し、心よりお慶び申し上げます。「就職」という目標を持って入学し、その目標を達成した人、就職という形にはならなかった人、様々かと思えます。就職できなかった人は複雑な思いをお持ちかもしれません。しかし、過去にも卒業段階では就職には結びつかなかったものの訓練を経て就職、立派に働き続けている人もたくさんいます。一方では結合実習では高評価を得て就職はしたものの、就職することがゴールとなってしまうと「働き続ける」というビジョンに欠けていて、すぐに辞めてしまい、なかなか次に繋がらない人もいます。

いつも言っていたように就職することも大切なことで、簡単ではないことも事実ですが、進路担当となって痛切に感じるのが「働き続けること」の大切さ、難しさです。現在は60歳定年ですが、再雇用で65歳まで働くケース多く、皆さんの時代になると70歳定年になっているかもしれません。その場合は50年余り働き続けることになるのです。

いつものパターンで恐縮ですが働き続けるため、五つ格言をはなむけの言葉として送らせていただきます。これから壁にぶち当たるようなことがあった時には思い返し、参考にいただければ幸いです。

1 「働かざる者食うべからず」

これまでは「学ぶ」という立場で過ごしてきました。今後は自分のできる範囲で働き、納税その他の形で社会に恩返しをしていかねばなりません。「納税者になれ！」これはある企業の方の言葉です。

2 「初心忘るべからず」

今年度も多くの結合実習反省会に出席しました。「内定」の結果をもらったときの、うれしさと「これからはがんばるぞ！」という思いに満ちあふれた生徒のみなさんの表情はとても良いものでした。時とともに物事の記憶は薄れるものだと思いますが、この時の気持ちを忘れないでいて欲しいと思います。働き出せば楽しいことばかりとは限りません。むしろ「仕事も飽きてきたし、今度の店長は苦手なタイプやし……。しんどいな。いやだな。会社行きたくないな」と思うことのほうが多いかもしれません。また、実習の時には何事にも素直に前向きに取り組んでいたのが、職場の方の指示を素直に聞けなかったり、失敗したときに素直に謝ることができなかったり、手を抜いたり……。そんな時こそ「初心忘るべからず」を想いだし、多少嫌なことがあっても素直に謙虚な気持ちで取り組んで欲しいと思います。仕事には不要なものなど何一つありません。どれも大切なものばかりです。自分の仕事に「誇り」「責任」をもって取り組んで欲しいと思います。

3 「継続は力なり」「石の上にも3年」

就職しても、1年もたたないうちにやめてしまったのではどうにもなりません。私は普段から「1年は石にかじりついて続けること。3年は続けよう」と言っています。最近は転職も珍しいことではなくなりましたが、1年も働けてないと転職もうまくいかないようです。逆に3年以上のキャリアがあると実績として評価されるようです。長く勤めることで、できる仕事も増え、会社の中でも信頼されるようになると思います。

今年度も「時間が延びた」「時給があがった」というような嬉しい知らせを聞くこともあり、働き続けることの大切さを再認識することの多い1年でした。

4 「三人寄れば文殊の智恵」

つらいときやしんどいときには一人で悩まずに相談して欲しいと思います。話をするだけでも楽になったりするものですし、相談することでよい解決方法が見つかるかもしれません。そんな話のできる人を職場で、家庭でつくるようにして欲しいと思います。もちろん学校でもかまいません。

5 「よく働きよく遊べ」

私は「結合実習は短距離走、就労継続はマラソン」と常々言っています。結合実習であれば「頑張るぞ！」という決意のもと、突っ走ることにより結果も得られますが、就労継続となるとそうはいきません。必ず息切れしてしまいます。マラソンで途中で給水があるように、就労を続ける上でも精神的にも肉体的にも「一息入れる」ようなことが必要になってきます。仕事以外での楽しみ(余暇・趣味)を持ちましょう。私も社会人になりたての頃、ある先輩に「遊びは仕事の活力！」と教えていただき、モットーとしています。スポーツ・旅行・電車など何でもかまいません(が、ギャンブル系はお勧めできません。経験上……)。何か好きなことがあって、その事に向けても頑張る。そうすることで仕事にもいい影響があると思います。ただ、注意して欲しいことを1つ。余暇を優先させるようなことのないようにすることです。余暇というものは仕事をきちんとやり遂げた上でのことですので(休日にゲームのしすぎで夜更かし。休日明けは寝ぼけ眼で出勤してくる。休日明けは仕事にならない！というダメ出しを頂戴したようなこともあります)。

それではまた。24期生の皆様のご多幸を祈っています。それぞれの進路先で活躍している姿を見るのを楽しみにしています。